

第2回愛南町海業推進会議 議事概要

開催日時：令和5年9月20日（水曜日）10時から

開催場所：愛南町役場本庁3階大会議室

参加者：木原副町長、海業推進委員（21名）

事務局（愛媛県3名、（株）価値総合研究所3名、愛南町）

一般来場者：3名

報道機関：2名（2社）

議事概要：

会議冒頭、木原副町長から開会挨拶。以下、流れに沿って記載。

【第1部】情報提供

まず、前回欠席の委員3名が各々自己紹介を実施。次に、第1回海業推進会議の振り返り、「海業振興による地域経済活性化の方向性・可能性」について、資料に沿って説明が行われた。

<第1回海業推進会議の振り返り等について>

海業推進室の浜辺室長から、第1回海業推進会議の議事概要およびグループワークのとりまとめを基に前回の振り返りを実施。第2部では、第1回のグループワークから出た5つのアイデアについて、議論を深めるグループワークを行うことが説明された。また、第1回会議後の愛南町役場海業推進室の取組、小中学生への「未来の愛南町」に関するアンケートのとりまとめが説明され、「未来の愛南町」について募集した小中学生の作文や絵の投票について説明が行われた。

<海業振興による地域経済活性化の方向性・可能性>

（株）価値総合研究所の鴨志田氏から地域経済の活性化には、地域外から所得を稼ぐことに加えて、稼いだ所得を地域内で回す地域経済循環構造が必要であることが説明された。愛南町の水産業は、町外から所得を多く稼ぐ産業である反面、町内の他産業間との取引が少なく、所得循環構造が構築されていない等が課題であると説明された。その対策として、町内各産業と水産業との地域内取引活性化、町外に依存している食料品加工や卸売業などの域外流出の抑制により所得循環構造を構築する海業振興の取組イメージが示された。

（休憩10分、第2部は10:50より再開）

【第2部】グループセッション

まず、浜辺室長からワークショップの進め方、前田委員からワークショップのポイントなどが説明された。

＜グループワーク＞

前回のグループワークで出てきたアイデアを基に、4つのテーマを設定し、それぞれが話したいテーマについてその場で決めてもらい、ワールドカフェ方式で自由討議を行った。Bグループの希望者が多かったため、2グループに分かれて実施した。

最後に各グループから1名が、そのグループで議論した内容や感想を発表した。

【その他、連絡事項】

事務局から、小中学生の絵や作文への投票依頼、次回会議を12月12日及び13日の午前中に開催すること、今年度の会議回数を1回増やして5回に増やしたいこと、運営委員会による振り返りを10月上旬予定で実施したいので、別途連絡することの説明が行われた。田中（純）委員から、委員同士の懇親を深めたいとの発言があった。

以上